

東京秋工委会報

KANASA

金砂

VOL.5



1997



東京秋工会

秋田県立秋田工業高等学校同窓会
東京支部

校歌

一、太平山の凜たる勇姿

清河旭の淀まぬ心

勤勞の精 質実の徳

金砂健児の指さす所

希望の光 世界を輝す

二、物皆凍る寒風おろし

身を焼く炎暑何かはあらん

剛健の意気 不断の努力

金砂健児の勢い見よと

黒煙回毎 天へと沖す

三、進みて止まぬ科学の力

我が身に体し工業界の

未来の使命肩にと担う

金砂健児が御国に誓う

忠誠これぞ 不滅の力



秋工正門



東京秋工会会長 澤木 誠一（昭26 電気科卒）
澤木萬國特許事務所 所長弁理士

東京秋工会の皆様、相変わらずお元気にてご活躍のことと存じます。

今年は秋田新幹線「こまち号」の開通、秋田県の「花まる」運動の推進など、例年になく秋田の活性化が盛り上がった年でした。

母校も平成11年には95周年を迎えることになり、その準備も始まりつつあります。

バブルがはじけて以来、経済の発展も今一つということは誠に困ったことではありますが、金融業界とは異なり、工業関係には多少なりとも明るさが見えて来ましたことは喜ばしいことであります。

秋田出身の方、特に秋工の皆さんはカモクであり、ハデなことは嫌いな点で共通しております。このことは誠に良いところとも言えますが、今日の情勢のもと、経済の活性化のためには多少自己主張をしていくのも必要かと思えます。

そうしたことを踏まえ、会員同士横の連絡を密にし、互いに助け合うことが大切と思いますが、そのための一つの手段として、新しい名簿作りを行いたいと考えております。

前回の名簿は昭和63年に作成されたものであり、その後既に10年が経ち、会員各位の状況も大きく変わっています。名簿作成にあたりましては、賛助広告を募ってその費用に充てたいと考えておりますので、その節には皆様の絶大なるご支援をお願いいたします。

さて、皆様ご承知のことと存じますが、母校の同窓会会則第5条では「本会の会員は所定の会費を納付しなければならない」と規定し、同窓会支部設置規定

第5条では「支部会員の同窓会費を取り纏め、本部に送付するものとす」となっており、当会は同窓会費を毎年皆様のために同窓会本部に納付することになっておりますが、これまでは特に実行されていませんでした。

この点に関しまして、今後は同窓会本部より皆様個人宛に本部同窓会新聞(同窓会報)を送付しますので、年額1000円の同窓会費を直接同窓会本部に納入していただきたい旨の連絡が来ております。この紙上をかりましてお知らせいたしますと共に、ご協力の程をお願いいたします。

在京秋田県高等学校同窓会連合会(秋高連)の総会が平成9年7月15日、サンシャインシティプリンスホテルで新しい秋田県知事である寺田典城氏を迎えて開催されました。同会には、東京秋工会の15名の出席者を含む約300名が集いました。秋高連では代表8名が、10月23日と24日に秋田県庁その他を訪問することになっております。

秋高連に対する皆々様のより一層のご支援をお願いいたします。

私は現在、秋田県のAターンアドバイザーに任命されていますが、この制度は首都圏で生活されている方々で(秋田県人同窓以外も含む)、事情があって秋田で生活したい方に無料で就職を世話する制度です。ご利用を希望される方は、TEL:03-3213-7788「Aターンプラザ秋田」(有楽町交通会館内)に、ご連絡ください

会務・会計報告

●会務報告●

平成8年10月1日～平成9年9月30日

- | | | |
|------|--------|---------------------------------|
| 平成8年 | 10月24日 | * 幹事会／於 澤木事務所 |
| | 11月 1日 | * 東京秋工会総会／於 東京プリンスホテル |
| | 29日 | * 秋高連忘年会／澤木会長他有志出席 |
| | 12月 7日 | * 第10回東京秋工ゴルフ会コンペ／於 ザ・オシャンゴクラブ |
| 平成9年 | 1月25日 | * けやき会(在京秋田市出身者の会)運営委員会／澤木会長他出席 |
| | 26日 | * 秋田県人会新年会／澤木会長出席 |
| | 2月 4日 | * 秋高連役員会／澤木会長出席 |
| | 6日 | * 秋高連委員会／澤木会長出席 |
| | 7日 | * 秋田県との会／澤木会長他有志出席 |
| | 22日 | * 秋田文化フォーラム(ひえばなの会)／澤木会長他有志出席 |
| | 3月 6日 | * 秋高連役員会／澤木会長出席 |
| | 10日 | * けやき会(在京秋田市出身者の会)運営委員会／澤木会長他出席 |
| | 4月20日 | * 秋田県人会総会／澤木会長他出席 |
| | 24日 | * 秋高連役員会／澤木会長出席 |
| | 6月 7日 | * 秋工東海支部同窓会総会／三平幹事長出席 |
| | 8日 | * 秋工関西支部同窓会総会／澤木会長出席 |
| | 11日 | * 東京雄水会(秋田商業同窓会東京支部)総会／澤木会長出席 |
| | 20日 | * 秋高連委員会／澤木会長出席 |
| | 27日 | * 幹事会／於 澤木事務所 |
| | 28日 | * 秋田文化フォーラム(ひえばなの会)／小野副幹事長他有志出席 |
| | 7月 3日 | * 秋高連役員会／澤木会長出席 |
| | 5日 | * 第11回東京秋工ゴルフ会コンペ／於 鶴舞カントリー倶楽部 |
| | 15日 | * 秋高連全体総会／澤木会長他有志出席 |
| | 25日 | * けやき会(在京秋田市出身者の会)運営委員会／澤木会長他出席 |
| | 30日 | * 秋高連役員会／澤木会長出席 |
| | 8月 8日 | * 秋田県Aターンアドバイザー会議／澤木会長出席 |
| | 9月 10日 | * けやき会(在京秋田市出身者の会)運営委員会／澤木会長他出席 |
| | 17日 | * 幹事会／於 澤木事務所 |
| | 19日 | * 秋高連委員会／澤木会長出席 |

会務・会計報告

●会計報告●

平成8年4月1日～平成9年3月31日

収入の部		支出の部	
*前年度繰越金	153,830	*総会費用 ・会場費(東京プリンス)・酒代 ・来賓接待・東京プリンス謝礼 他	435,882
*年会費 ¥3,000 × 166名	498,000	*総会準備費 ・総会案内、振込用紙等の印刷費 ・ハガキ、切手・封筒・文具 他	72,000 125,800
*総会費 ¥7,000 × 54名(男) ¥3,500 × 1名(女)	381,500	*会報「金砂」制作費 ・版下代・印刷費(1200部) 他	250,000
*「KANASA」広告料 18件	162,000	*交際費 ・東海支部総会御祝儀 ・関西支部総会御祝儀 ・東京雄水会総会御祝儀	10,000 10,000 10,000
*総会御祝儀・秋田工業高校 ・同窓会本部 ・東京雄水会 ・秋田市東京事務所 ・東海支部	10,000 10,000 10,000 10,000 10,000	*諸会費 ・平成8年度分秋高連年会費 ・けやき会会費	10,000 10,000
*雑収入・澤木会長 ・幹事有志	55,000 36,000	*広告費 ・新春挨拶広告(秋田魁新報社)	30,900
*定期預金利息	829	*会議費・幹事会会食費 / 4回	165,681
		*諸雑費 ・振込手数料 / 年会費、会報広告料 ・幹事会案内及び広告料請求事務費	11,400 4,300
		*次年度繰越金	191,196
●収入の部合計	1,337,159	●支出の部合計	1,337,159

※本会計は現金主義の会計制度を採用していますので、未収未払は計上していません。

●上記の通り決算報告いたします。

平成9年9月30日

会長 澤木 誠一
幹事長 三平 俊悦

●適正のものと認めます。

監査 佐々木 昭夫
監査 門馬 金初

平成8年度会計報告について

平成8年度においては、次年度繰越金が前年度に比べ約37,000円の増となりました。これは昨年度から実施しております総会案内の返信ハガキの受取人払いへの切替等による経費節減及び微増ではありますが会報の創刊以来の会費納付者の増大(前年比8名増)などが要因です。

今後の会の活性化を考えていく上では会費納付者を200名程度迄に上げ、安定させ、様々な企画を皆様に提供できるような状況にしていくことが必要と会では考えております。皆様にはぜひ今後も絶大なるご支援とご協力をいただきますよう宜しくお願いいたします。

お知らせ・ご報告

★平成8年度総会

平成8年度の総会は平成8年11月1日、例年通り東京プリンスホテルにて、母校林護一校長、同窓会本部小野地謙治氏、東海支部五十嵐会長、東京雄水会(秋田商業同窓会東京支部)副会長のご出席をいただき開催されました。

第一部総会は会長挨拶、会務会計報告、監査報告と順調に進行。第二部懇親会に移り、平成8年度で母校から移動される林校長のお礼の挨拶が注目されました。続いて小野地氏が同窓会本部の活動状況等を報告され、その後乾杯となりました。

以上のような流れで、最後に校歌を全員で斉唱し、平成8年度の総会は終了したわけですが、平成8年度総会への来賓を除く出席者は総勢62名(内女性1名、新卒者1名)でした。ここ数年では比較的多い出席数といえますが、決して満足できる数字とは言えません。また、女性及び新卒者の出席が少ない状況にあり、幹事会においても大きなテーマとなっています。

平成9年度の総会は平成9年11月14日に行うことが決定されています。通知等についてはできる限り漏れのないよういたしますが、会員の皆様の周りに案内通知等が届いていない方などがいらっしゃいましたら、ぜひ事務局までご一報いただきますようお願いいたします。

★東京秋工ゴルフ会

平成8年12月7日、20名の参加をいただき、第10回のゴルフ会記念コンペを日立市にある、ザ・オーシャンゴルフクラブにて開催いたしました。

記念コンペにふさわしい盛り上がり見せた会でありましたが、晴れの優勝者は太田晋氏(31M)となり、取り切りの優勝カップを手に入れています。

また、その日は当地に宿泊、記念コンペ宴会を行いました。ゴルフプレー中以上の盛り上がりで、会員同士の親交を大いに深めることができました。

第20回には、また同様の企画を行う予定であります。ぜひご参加ください。

平成9年7月5日には、第11回コンペを鶴舞カントリー倶楽部で開催いたしました。当日は、梅雨とは思えぬ炎暑で、参加者一同バテバテではありましたが、これもまた良い思い出になると、最後までプレーを楽しんでいました。

優勝は、山本修一氏(40A)がされています。

さて、次回コンペ(第12回)は本年11月後半又は12月初旬にということで、現在計画を行うところ

です。ゴルフ会に登録されている方には、追ってご連絡させていただきますが、次回から参加したい、あるいはとりあえず登録したいという方がいらっしゃいましたら、同窓会事務局(裏表紙記載)又は下記へご連絡下さいませようお願いいたします。

担当幹事/三平俊悦(39A)

連絡先/TEL: 03 - 3345 - 8555 (会)
大地住販内

TEL: 044 - 852 - 0891 (自)

★その他のお知らせ・ご報告事項

平成8年度総会案内の返信ハガキ他の情報で、次の方達のご逝去の連絡がございましたのでご報告させていただきます。

備前良助	昭和8年電気科卒	平成8年8月ご逝去
船木政良	昭和13年土木科卒	平成8年11月ご逝去
松本徳平	昭和27年機械科卒	平成9年2月ご逝去
宮野 悟	昭和30年電気科卒	平成9年9月ご逝去
高橋常蔵	昭和31年電気科卒	平成2年8月ご逝去

以上5名の方達のご逝去の連絡がありました。心からご冥福をお祈りいたします。

上記物故者の中の松本徳平氏は、東京秋工会の幹事として永く会の運営ににご尽力されました。深く感謝いたしますと同時に、改めてご冥福をお祈りしたいと思います。

●記事、投稿、情報提供等のお願い

東京秋工会、母校に関連する、例えば上記物故者の情報等をお寄せ下さい。また、エッセイや俳句等の趣味的原稿、ご自分の研究されている事項の原稿等々でも結構です。

この会報をその発表の場として考えていただければ有難く存じます。

ぜひご協力ください。

ご連絡は裏表紙記載の事務局へお願いいたします。



久しぶりの団長に思う

遠藤 幸男

(昭30 電気科卒)

東京秋工会副会長

日本大学教授

オリンピックゴールドメダリスト



去る7月31日～9月7日、IOC本部のあるローザンヌ(スイス)で開催された、第33回世界体操競技選手権大会に日本代表選手団団長として参加した。団長を引き受けざるをえなかった理由の一つは、大学が夏季休暇中だったことである。

さて、ここでは2個の銅メダルをみやげにできた男子について振り返ることにする。

今大会の最大の目標は、団体総合の予選で6位以内に入り決勝に臨むことだった。恐らく過去の強国日本を記憶する人々にとっては、

「消極的だ」と叱られそうだが、昨年のアトランタ・オリンピック大会の不振、さらに他国の競技力の現状分析からして、やむをえない設定だった。幸い予選では予想以上の3位と健闘、それは「失敗しなければ、それなりの……」との密かな思いと期待が見事に的中した結果ともいえる。

決勝では3位となったロシアと僅か0.039差で4位となったが、中国の強さは別格として、他国との一進一退の緊張した競技展開は、世界に日本ありとの印象を十分に与えた点において、意義の大きい大会だった。

個人的には塚原選手が、個人総合と種目別(平行棒)で銅メダルに輝いたが、双方の出場権が6名で競った団体予選の成績により与えられたこ

とを考えると、いかに仲間意識が大切であるか理解できる。すなわち、和の力の大きさを常に心して、これからのトレーニングに励むならば、心技の成長も一段と加速するにちがいないと思うからである。

銅メダル2個に恵まれた団長として、今大会の競技力を最低ラインと位置づけ、今後は上昇気流のみを念頭に再建に挑まなければと痛感している。

('97.9.19.記)



秋田県ラグビー発祥の地発見

佐々木 昭夫
(昭25 機械科卒)

東京秋工会会計監事
横浜市南区在住



1997年8月9日、所用あって秋田市に出向いた折、秋田県ラグビー発祥の地記念碑を発見した。こんな所にと意外に思った。

そこは昔の榎山グラウンドであった場所で、現在は中通病院、千秋会館、中通児童館等になっている。

秋田ラグビーの草分けは大正2年(1923年)春武藤鉄城を中心とする秋田運動倶楽部による旗揚げと、また寺井和志蔵が秋田鉱山専門学校にチームを作ったことに始まった。この年の9月には榎山グラウンドで両者が、ラ式蹴球の最初の試合を行った。

そして両者は県内に普及行脚。中等学校にチームができ、昭和4年(1929年)関東ラグビーフ

ットボール協会に加盟。この年県内全勝の秋田工業学校が翌年の全国中等学校大会に出場。以来秋田工業は華々しい声価を得ることとなる。

旧国鉄土崎工場、秋田鉱専ともに昭和初期の全国大会で善戦し「ラグビー王国秋田」の名前を欲しいままにし、今日までその伝統を伝えている。

昭和28年(1953年)待望のラグビー場が八橋に設置され、秋田市を中心とするラグビー人口は増え、チームも多く、市協会等が底辺拡大に努力しているとの事であった。

「頑張れ秋工ラガー健児!!」



記念碑と佐々木氏



入学の頃の思い出

村上柳三

(昭39 建築科卒)

日本海に面する秋田県最南端の町、象潟より建築科に入学したのは、昭和36年である。

当時は県では秋田国体、国では東京オリンピックを控え、折しも池田内閣による高度成長政策の真只中で日本中が建設ブームで沸き返ってる時期でもあった。

その為かと思われるが、建築科に入学を希望する生徒が非常に多く、県内の高校では最高の倍率であったと記憶している。

私のような郡部の町の中学より秋工に入学することは、当時としては憧れでもあり羨望のような感もあり、そこへの受験は大きな不安もあった。が、運良く合格する事が出来、早朝のラジオから自分の名前が聞こえた時の喜びは、また格別なものであった。

入学後は授業や勉強よりも汽車通学に思い出深いものが多い。なぜならば、夏冬問わず早朝5時に起床し朝食を取り、駅まで歩くこと12~13分で6時ちょうどの汽車に滑り込むように乗り、2時間掛けて秋田駅に到着し、学校まで片道3時間で、往復すると一日の授業時間に匹敵する位であった。

汽車も蒸気機関車で、途中3ヶ所のトンネルがあり、特に岩谷のトンネルは長く通過に2分位要するため、社内が煙で暗くなった。夏などは粉じんでワイシャツが汚れるため手洗いの洗濯も大変だったかとも思われる。

しかし遠距離で良い面もあった。それは始発に近いため必ず座れることである。乗客も何両目の何番の席と毎日決まっており、後から乗車してくる人の立つ位置まで同じで、席

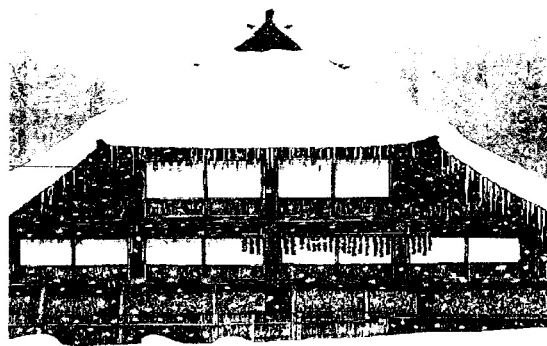
を譲り合ったりもした。

それから天候の違いにも何度か感わされた。それは朝の出掛けは良い天気でも、秋田市に近くなるにつれ雨天となり濡れたり、雨のため傘を持ち長靴の完全武装で登校すると快晴であったりして、級友に田舎者呼ばわりされたり、また山形県の庄内に近い言葉やアクセントの違いでからかわれたりしたが、俺の方が東京に近いと冗談で混ぜ返したりした。

そして履物は入学した頃は下駄履きでガラガラ鳴らしながら歩いたが、途中より靴となり、初めて革靴を履き底べり防止の金具をカチカチ音を立てながら通学した思い出もある。

この間、晩秋の時期や厳冬の吹雪でも朝食を作り、弁当を持たせた母の苦労も大変なものだったろうと感謝している。

この数年間秋田市へ行く機会はなかったが、11月末に帰省するのでぜひ足を延ばし、「こまち号」が出入りする今の駅舎の前で当時の木造の駅舎を思い浮かべ、感懐に更けてみたいような気がしている。





牛乳飲むべし！



作者紹介

笹 渕 茂
東京秋工会副会長
昭和21年7月金科卒業
首都圏男鹿の会副会長
現在埼玉県戸田市在住

話は数年前にさかのぼる。

5月18日から20日にかけて“〇〇駅長号”なるツアーに参加したときのことだ。

わたしの席は電車もバスも終始窓側。これはありがたい。ところが窓際が必ずしも最高とは限らない。カンカン照りのときはつらい。こういうときはマグ(カーテン)を引くわけだが、これによってせっかくの景色がよく見えない。かといって反対側を見ていると、いかにもそちら側の人の顔をのぞいているようでバツが悪い。長距離列車には車内広告がないから、それに目をやることもできない。しかし、いつもの癖で眠くもならない。タバコでも吸うか！

◇ ◇

野辺地—むつ—恐山—下風呂—仏ヶ浦—大間崎(下北半島の最北端)—△△温泉—新緑の奥入瀬溪流の散策—十和田湖遊覧。

これが主な観光コース。

下風呂温泉は大間崎に近い素朴な漁村。宿も海の前。

30歳前後の中居が夕食のおぜんを運んできた。隣に座った客が、これは何ですかと一皿を指した。クロモ(海草)とアワビ、それにあと一、二の具が入った酢の物だったように記憶する。

「ハイ、よく“カマして”食べてください」

「ハあ？」

隣客にわかろうはずもない。

中居が真顔で問い正した。

「東京ではカマすことを何というんですか？」

それにしても、本州最北端のこの地で秋田と同じことばを使っているとはうれしい。(カマす=かき混ぜる。かき回す)

われわれ秋田県出身者にも思い当たるフシがある。

ネマる(座る)・ナガまる(横になる)・ナガめる(足などを“伸ばす”)・スイカを“ハヤス”・ジャマケ“シ”(邪魔つけ)。

これらは皆、標準語と思っている人が結構いる。

そうは思わないまでも、ついうっかり“利用”してしまう。ムリもない。慣用があまりにも固定してしまったゆえんであろう。しかし、「ハヤす」などは堂々と使ってよいのではないか。いや、ぜひ日本国中に広めたい。かつては全国に共通する立派な「標準語」だったのだから。しかも“調べ”がよい。

「ハヤす」は家の建て前、結婚式などで昔は広く使われたことば。こうしためでたい席で「切る」では縁起でもない。失礼になる。そこで昔の人は考えた。「殺る(きる)」の反語「生(は)やす」としたのだ。

よく冷やされたスイカ。切る。なんとも味気ない。“ザクッとハヤす”。同じスイカでも、なんとみずみずしく感じられることか。食べてもうまい。ガッコ(おしんこ)をハヤす。これもうまい。

行く先々では、必ずといっていいほど“ここが日本一”とのたまう。△△温泉も例外ではなかった。社長代理の代理のそのまた代理人風のかっぶくの男が「ここの岩風呂は…」とはやしたてていた。風呂のことで大風呂敷を広げたわけだ。

◇ ◇

旅も終りという直前でアクシデントが起きた。大宮駅の新幹線ホームに降りようとしたとき、うかつにも足を踏み外して、電車とホームの間へ右足を落下、弁慶の泣き所を強烈に打った。指は動かせるし歩けもしたので、骨折ではないらしい。その夜はときどき痛みも襲ったが、まあまあ眠れた。

翌朝打ったスネの部分を中心に周辺までがパンパンのはれよう。

(“ぶす黒くなった”を標準語ではなんと言うんだろう？ こういう端的に表わすことばが標準語にないのだから、困る。表現のしようがないのだ。その点、秋田のことばは豊かでべんり)。

骨折はしていない様子ではあるものの、骨にヒビが入っていることも考えられるので、ひとまず病院へ。

レントゲンの結果、幸い骨には異状がなかった。が、それよりも驚いたのは内出血。内出血がこれほど恐ろしいとは。

「ちょっと痛いですよ」

整形外科医が直径2ミリほどの太注射針をハレ口に差し込んだ。続いて金属の綿棒を4,5センチ(4,5ミリではないですぞ)ほど入れて、ゆっくりカマシ始めた。

「ぜんぜん痛くないですが」

医者はそのにこたえず綿棒を抜くと、内部の血の固まりの搾り出しにかかった。1回,2回,3回。3回目あたりで、あまりの痛さに、思わずウメキ声を上げたわたし。

「大丈夫です!がんばってください、がんばって!」

そばから看護婦の励ましの声。

搾りは5,6回にわたって続行。医師の五指が血だらけになっている。診療室の床が血で真っ赤に染まった。看護婦がそれをふき始めた。3,40ccは出たことだろう。

こんなになるまで、よく我慢していたものだと、首をかしげながらのあきれ顔の医師。

「このままにしておくで、脚が腐ってしまいますよ。脚を高くして、絶対安静にしてください」

とオジョクウセラレだ(脅かされた)。

「んーこのタゲランケ(たくらみ者)!

思わずノドの先まで出かけた。しかし内心は真実感謝。よくやっていただいた。完治したとき、改めてお礼を言おうと思う。

「カボヤ、カボヤ(ありがとうよ)」。あまりにも軽すぎる挨拶だから、これはよそう。

「オオギニ、オオギニ(ありがとうございました)」。

医者にワ・ガ・ル・カ・ナ?

治療3日目に入って、状態が思わしくないからとギプスで脚・足を固定。松葉づえのやっかいになる。この松葉づえ、思ったほどうまく使いこなせない。方向が定まらないのだ。腕からははずれかかる。エイッままよと地に足をついたら、ギプスの脚部と足辺部がかかとの部分から分解してしまった。つまり割れてしまった。石膏って案外もろいものなのだ。医者にたしなめられた……ということにしておこう。ワガッテル、ワガッテル。

◇ ◇

ケガ・病気はするものじゃない。待合の廊下に

なんと患者の多いことか。自分の番に回ってくるまで、短くて1時間半、長いときは3時間。5時間待った人もいたとか。その間、脚へのうっ血によるムクミの増大。つれて、傷口もズキズキ痛む。

足のケガ人のうち、その7,8割方はなぜか右足。『利き足にご注意!』といったところかも知れない。

妻の予想どおり、4日めからはハレもいくらか引いてきた。

今にしてみれば、帰着日のゴロが悪い。5月20日“ゴニ”。このゴニッ!(こん畜生)

妻にもゴシャガレダ(しかられた)。女房らしからぬ発言で。

「恐山で何拜んできた!?!」。いや、まったく。

通院し続けてちょうど2週間。ようやくギプスを外された。

その後も引き続き通院。キズ口を開き、そこにガーゼを詰め込まれるという繰り返しの毎日。病院から診断書をもらったが全治6週間の見込み。

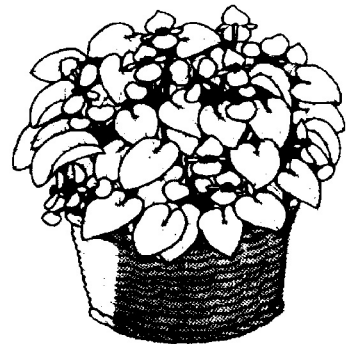
このたびのケガのことで医師が感心してくれた。何を感心したのか。話はこうだ。

わたしくらいの年配者になると、このようなケースの事故の場合、ほとんどの人は骨折すること。更年期を過ぎた女性だとこれがいっそう顕著。ホルモンの関係で男性に比べ、どうしても骨がスカスカになりやすい。そのため、骨折は老婦人に多いという。

牛乳を飲み始めてほぼ25年。1日約200~300ミリがわたしのペース。この牛乳の中のカルシウムが、骨折を防いだのだ……ま、こんな話だった。

牛乳のカルシウム含有量は100ミリあたり100ミリグラムだという。1日に250ミリ飲んだとして1年で91グラム、25年では2.27kgのカルシウムを摂取したことになる。

『牛乳飲むべし!』





第二のスタート

三平 俊悦
(昭39 建築科卒)

東京秋工会幹事長



平成7年度から、斎藤右二郎さん(26M)から若輩の私が幹事長職のバトンタッチを受けました。斎藤さんは、永年東京秋工会の発展の為に活躍されました。永い間、本当にご苦労様でございました。改めてここで御礼申し上げます。

意志を引き継ぎ、また会長並びに幹事、会員の皆様達からのご指導を賜わり、微力ながら頑張る所存でございますので、宜しく願いいたします。

私の秋工入学当時(昭和36年)は、東京オリンピックの開催が決定しておりまして、各施設の建設及び基盤整備等で、空前の建築ラッシュでありました。建築科は大変な人気で、全県で一番の受験倍率(2.7倍)となり、一緒に入学した47名中約3分の1が中学浪人者でした。受験は難関であったと思います。

私は勉強・運動ともにあまり好きではなく、学生時代はどちらかというと遊びに励んだ方でした。成績は卒業時には後ろから数えた方が早かったです。しかし友達はたくさんできまして、今でも当時の友人達と仲良くしております。

卒業後、建設業の(株)新井組に就職しまして、昭和50年迄関西勤務となり、工事現場を転々とし(広島、滋賀、大阪、神戸)、高度成長時代は大変忙しい毎日でした。

ところがオイルショック後、仕事が激減し

た為に建築営業部へ転部となり、昭和53年に東京支店勤務となりました。

支店は恵比寿にあり、右左も分からない時に、支店の近くにおられた先輩、加藤設備の加藤慶吉さんや斎藤右二郎さん達と知り合うことができ、大変心強く思い、またお世話になりました。

仕事は建築受注活動及び札幌支店・仙台営業部の開設を担当しました。

昭和58年頃から、リゾート法の改正等により、建設業も受注産業から積極的に造注に向っていきました。私も開発営業部の責任者として、リゾートマンション、ゴルフ場、都心ビル事業等の建設に係る種々事業を積極的に展開しました。

成績はウナギ昇りに良くなりましたが、それもバブルの崩壊と共に事業が頓挫し、損が大きくなり、会社に多大な迷惑を掛けることとなり、入社するのが嫌で苦しい毎日が続いておりました。



平成7年2月、阪神大震災が起こり、西宮本社が被災地であるため、復旧及び再開発作業員として東京から多数応援に行きました。その機会に私の部は東京に必要なくなり、発展的に解消されたのです。

私もいずれ、関西に転勤(左遷)が見えていましたし、今さら東京を離れましてや秋田からより遠くなるのが嫌という気持ちもありました。

そこで、50歳を転機に思い切って新しい人生をスタートさせる方がスッキリとするのではと考え悩んだ末、平成7年10月末日を以って、28年間の勤務にピリオドを打ちました。

先の会社では私は当初技術屋としてスタートしましたが、振り返ってみて、自分には営業職が合っている(人づきあいが良く、ゴルフ、麻雀、酒好き)ということに気がきました。

現在私はそうした能力の生かせる(?) 畑違いの、マンションデベロッパー会社大地住販(ドラゴンマンションブランドの販売会社)で、企画開発事業本部の責任者としてお世話になっております。

仕事は、用地の仕入れ、企画設計、建築管理が主な仕事です。年間マンション1000戸、戸建100戸を供給しております。

今のところ順調に会社が伸びており、2001年の店頭上場を目指して、若い社員と一緒に日々忙しく送っております。

今までの様々な経験を生かして、会社にも少しでも寄与できればと考え、健康第一に、第二の人生に花が咲くようにと張り切っております。

また、現在50の手習として、10月19日の宅建試験を目指して勉強中であり、10月1日より禁酒の予定ですが、実行できるか疑問があります。

本年度の東京秋工会総会時にはスッキリした気持ちで出席できるものと思っておりますが、転職してからは東京秋工会にもご迷惑をお掛けしました。

とにかく色々な意味で、今後も宜しくお願いいたします。

表日光に洒落た靴屋さんを見つけた!!

太田 晋
(昭31機械科卒)

東京秋工会幹事

去る9月13日まだ夏の暑さも冷めやまぬ日、娘と一緒に日光見物と洒落込み日光駅からバスで華嚴の滝、中禅寺湖へと真っ直ぐら…。生憎の雨と霧で華嚴の滝は見え、娘は残念がる事しきり。雨の中を中禅寺湖を散策し、日光名物の湯波（他のユバの名産地では湯葉と書きますが、日光では湯波と書くようです）の刺身に舌鼓。娘も満足し、次の目的地日光東照宮へと急ぐ。イロハ坂を下り、東照宮の所で物凄い雨に見舞われ東照宮見物を断念。次の目的地へ急ぎます。

前置きが長く申し訳ありませんが、実は次の目的地が主題のごとく本番でございます。

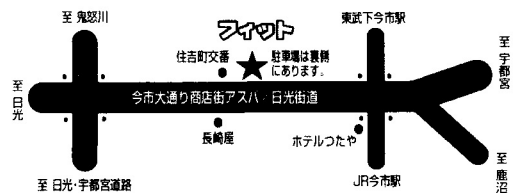
東武日光から下今市まで東武線で10分足らず。駅から徒歩5～6分で商店街通りにありましたありました、新装真新しいシューズショップ「フィット」。都会のセンスを充分に取り入れた広さは200坪位あるのでしょうか。見事なインテリアで、お客様がちょっとしたぞくと中に入りたくなるような色調豊かな店内デザインの素晴らしいお店でございます。

何故小生がこのお店を賞賛するかと云いますと、実はこのお店を改装するにあたり、トータルプランナーとして、販売企画、店舗内装プラン、広告 ETCにその能力を如何なく発揮した人物が、我が秋田工業機械科48年卒でこの金砂の編集者である船木一美君だからでございます。このシューズショップ「フィット」の社長とは、地域の活性化事業に船木君が講師として招かれ講演した時からの付き合いだそうです。彼のどこにこの様なインテリアの能力があったのか判りませんが、素晴らしい店を作ったものと感心いたしました。(建築科卒でもないのに)

この日は雨がしこたま降っておりましたが

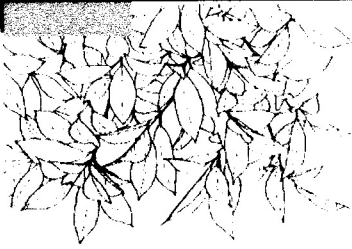
それにもめげず立錫の余地のない程のお客様が来ていました。余談ですが、小生も孫達にナイキのシューズを買ってきました。

ちなみにこの店の周辺の情景に少し触れてみます。まず皆様ご存じと思いますが今市は天然記念物日光杉並木の出発点でございます。この杉並木をくぐっていきますと東照宮に着きます。そしてイロハ坂へ……。またこの店の裏手には二宮尊徳を奉った二宮神社があり、神社の裏側にはそのお墓があります。もちろん日光ですからその他にも見所はたくさんあります。日光を見ずして結構と云うべからずという例えがありますが、日光方面へお出かけの際は、この我が後輩のデザインしたお店に立ち寄ってみてはいかが？



船木君本人では自分のことをPRしにくいでしょうから小生が代わって紹介いたしました。このようなお店の改装等の計画がある方は船木君のところへ相談してみてくださいは……。

ちなみに今市の商店街ではこの「フィット」が目立され、各お店からの相談があるようです。



たまには……

船木一美

(昭48 機械科卒)

東京秋工会副幹事長



会報「KANASA」も第5号となった。これまででは編集担当としての分をわきまえ(?)、自分のことは、極力書かないようにしていたつもり……。でもたまにはいいかなど、書いてみることにした。

私が秋工を卒業したのは昭和48年。オイルショックの前年のことである。社会人なりたての私には何がなんだか良く分からないことではあったが、翌々年にはオイルショックの影響をもちに受けることとなる。入社した会社(パイオニア(株)の関連会社)がレイオフとなったのだ。

製品開発部門で製品設計を担当していたのだが、仕事の楽しさみたいなものが分かりかけてきた頃だったのでショックは大きかった。

パイオニア直系の工場へ移動することもできたのだが、同じ仕事はできないと聞き、思い切ってかねてから興味があった、工業デザインを勉強すべく、水道橋にあるデザイン専門学校の2部(いわゆる夜間部)に入学することにした。

昼はアルバイトをし、午後6:00から9:00までが学校という生活を2年間続けた。

デザイン学校というところは、とにかく金がかかる。特殊な筆記道具や、模型及び試作用の材料・道具と、新しい分野に入っていくたびに購入しなければならないのだ。

しかも、課題(宿題)に追いまくられ、アルバイトもしばしば休まなければならない程。

独り暮らしで、生活費をアルバイトに頼っていた身にとって苦しい毎日だった。

だけどとにかくデザインの仕事がしたい、デザイナーになりたいの気持ちが強かった。それがなければとうにやめていたろうと思う。

そんなデザイン学校の2年間で何とかクリアし就職したのが、ある文具メーカー。

そこで知り合った二人のフリーランスデザイナーに大きな影響を受けた。

特にそのうちの一人の方とは、当時新人デザイナーの登竜門と言われていた、「毎日工業デザイン賞」にチームを組んで応募。思いもしなかった「課題賞」を受賞することができた。

帝国ホテルで行われた受賞式に行った時の、実に晴れがましい思いは、一生忘れられないだろう。特にデザインという仕事に携わって1年目のことだったのでなおさら…。

その後いくつかの会社を経て、昭和59年の10月に独立した。

独立してから今年で13年となる。様々な仕事を経験できた。残念ながら経済的にはまだまだという感じで、カミさんには苦勞かけ通しである。

最近では工業デザインの仕事とは別に、地域の活性化の仕事に依頼されることが多い。村おこしや商店街の活性化などである。

昨年一年間、栃木県今市市のメイン商店街の活性化を手がけた。その他にも山梨の身延線沿線にある町の活性化も今進行途中にある。長野や栃木の他の町や村にもたまに、講演依頼や講習会等で出向くこともある。

そうした地方の町や村に行くと、どうしても秋田のことを思い浮かべてしまう。

これはあくまでも希望ではあるが、いつかそうした活性化などで培ったノウハウを秋田のために生かしてみたい。

この会報を作り始めた動機も実はそうした気持ちの一旦なのである。

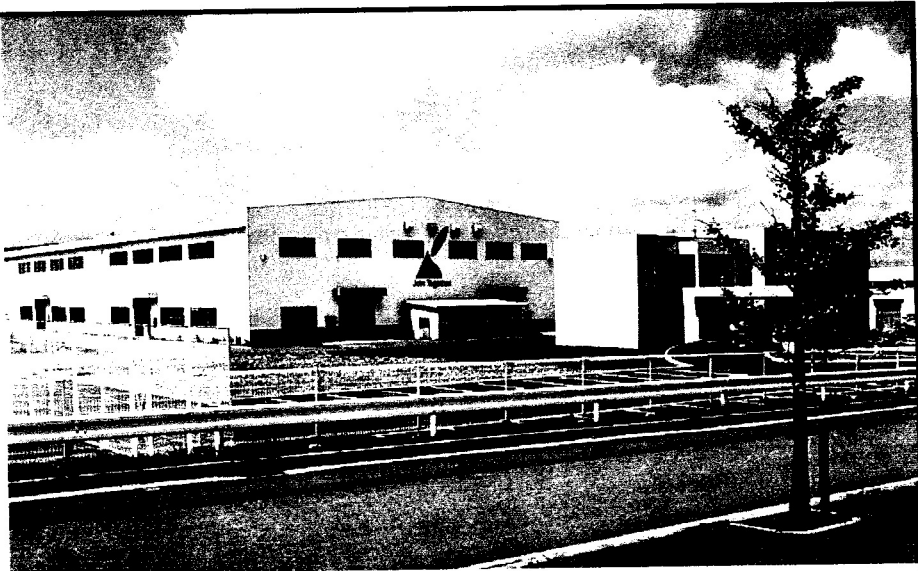
たまには書いてみようが、長々となってしまった。書き足りない部分はまたの機会にさせていただくこととする。

とにかく今後も長くこの会報の制作を続けていきたいと考えてます。それには同窓の皆様のご協力が不可欠です。どうぞ今後もご支援いただきますよう、宜しく願いいたします。

平成9年10月10日

賛助広告

産業機械
 鑄造設備
 公害防止設備
 自動化設備
 設計制作



(秋田工場)

株式会社 五十鈴製作所 代表取締役会長 富松 宗富 (昭17電気科卒)

本社営業所 〒457 名古屋市南区前浜通り3-21五十鈴ビル
 TEL (052) 823-2181(代) FAX (052) 823-2186
 碧南工場 〒447 碧南市雁道町4-1
 TEL (0566) 48-1211(代) FAX (0566) 42-8040/42-9100
 秋田工場 〒010-14 秋田市御所野湯本4-1-4



Join Together.

技術士・経営士 (コンサルタント)

浦井 技術士 経営士 事務所
(経営工学士) (生産)

(U. E. M.) ←(略称)←

“気軽にご相談下さい”

所長 浦井 宗治

連絡先

〒207 東京都東大和市高木3-419-3

TEL : 0425 - 61 - 0740

FAX : 0425 - 62 - 4557

(社) 日本技術士会登録専門事項
 生産性向上, 生産管理, QC, レイアウト
 仕掛及び在庫削減, 新製品新加工法体系
 標準化統合化, IE, VE, TPM
 付加価値経営計画, コストダウン

昭和12(1937)年 秋田工業高校機械科卒

豊富な総合技術で 明日をめざす



株式会社 東北機械製作所

取締役社長 佐藤鈴男 (昭30採鉱科卒)

本社 / 秋田市茨島1-2-3 〒010 TEL : 0188-62-5541(代)

茨島工場 / 秋田市茨島1-2-3 〒010 TEL : 0188-62-5541(代)
 FAX : 0188-62-5626

向浜工場 / 秋田市向浜1-3-1 〒010-16
(大型物組立)

東京支社 / 東京都港区浜松町1-12-6 第一浜松町ビル3F 〒100
 TEL : 03-3435-1701(代)
 FAX : 03-3435-1715

青森営業所 / 青森県青森市長島2-10-4 新藤ビル別館3F 〒030
 TEL : 0177-22-5599
 FAX : 0177-22-5599

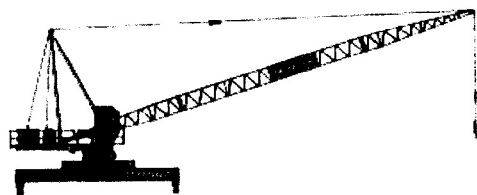
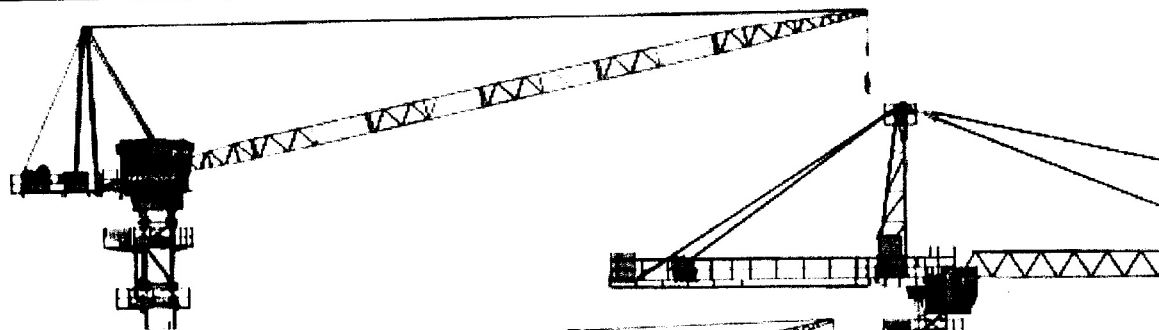
東北マテックス株式会社

取締役社長 村上通郎 (昭26冶金科卒)

※秋工同窓会東北機械支部長

秋田市川尻若葉町6-1 〒010 TEL : 0188-62-5271(代)
 FAX : 0188-62-5295

タワークレーンの ogawa



株式会社小川製作所 代表取締役専務 川端 邦夫
小川リース株式会社 代表取締役社長 (昭31 機械科卒)

本社 / 千葉県松戸市松戸新田 435-13 小川ビル TEL: 0473-65-3211(代) FAX: 0473-65-3273
工場 / 千葉県印旛郡白井町名内 330 第2白井工業団地内 TEL: 0474-97-0765 FAX: 0474-97-1039



澤木萬國特許事務所

内外国への特許、実用新案、意匠、商標出願
侵害事件についての相談・鑑定・調査

所長弁理士 澤木 誠一
(昭26 電気科卒)
弁理士 澤木 紀一

〒105 東京都港区虎ノ門1-18-1 第10森ビル8F
TEL: 03-3501-0937(代)
FAX: 03-3595-0059

株式会社 大岸製作所

建設機械部品の総合メーカー

本社 / 東京都足立区新田 3-10-6
埼玉工場 / 埼玉県南埼玉郡白岡町上野田
山形工場 / 山形県西置賜群飯豊町添川 3514
米沢工場 / 山形県米沢市万世町片子 5850-1

●主要取引先 日立建機株式会社
新キャタピラー三菱株式会社
三菱重工株式会社
株式会社加藤製作所

代表取締役社長 佐藤 進 (昭32 機械科卒)

省エネルギータイプ
道路・地下道・歩道橋の融雪と凍結防止に

“ロードヒーティングシステム”を

面状発熱体方式 融雪ブロック方式(玄関前,歩道)
ケーブル方式 ケーブルシステム(昭和電線)

東北総代理店



千代田電気工業株式会社

代表取締役社長 小野地 謙 治(昭18機械科卒) 代表取締役専務 小野地 慎 一
〒010 秋田市中通り6-3-30 TEL: 0188-33-5451(代) FAX: 0188-34-5539

ドラゴンマンションの

DANCHI®
株式会社 **大地住販**

宅地建物取引業免許 建設大臣(3)第3740号
〒229 神奈川県相模原市相模原5-1-1
TEL.0427-53-1155(代) FAX.0427-57-5010

企画開発事業本部 事業部長

三平 俊悦
(昭39 建築科卒)

企画開発事業本部

〒163-02 東京都新宿区西新宿2-6-1
新宿住友ビル36階

TEL.03-3345-8555(代) FAX.03-3345-8013

オイルス工業株式会社系列会社
(平成9年9月/一部上場致しました)



大平産業株式会社

営業品目

- オイルスベアリング
- ボール、ローラー、ベアリング
- ニードルベアリング
- ボールネジ
- ピローブロック
- 油空圧機群及び装置
- 二硫化モリブデン系潤滑材
- その他工業機器及び用品

オイルス工業株式会社 代理店

光洋精工株式会社 代理店

タイキン工業株式会社 代理店

日本ピローブロック製造株式会社 代理店

住鋤潤滑剤株式会社 代理店

本 社/〒550 大阪市西区立売堀1-11-2
TEL: 06-541-0021(代) FAX: 06-531-5293
東京営業所/〒123 東京都台東区元浅草1-4-8 第2ウサキヤビル2F
TEL: 03-5828-1731 FAX: 03-5828-1735

常務取締役 宮崎 吉彦

営業部長 太田 晋(昭31 機械科卒)

東京営業所所長 渡辺 悟志

各種試験機・部品・検定器の製造・販売・修理

各種試験機・下取り・更生品の販売

日本計量士会・日本海事協会の検定申請・立会

重力単位表示(kg)の試験機から

SI単位表示(N)の試験機への改造一式

株式会社 **日本試験機製作所**

〒146 東京都大田区東矢口3丁目29番地1号

TEL: 03-3732-1678

FAX: 03-3732-1684

斎藤 靖宏 横田 忠

(昭32 機械科卒)

(昭32 機械科卒)

空気を育む環境づくりをめざして



不動建設株式会社

部長 小野 鉄雄(昭38 土木科卒)

課長 鷺塚 勝幸(昭39 土木科卒)

東京本社: 〒110 東京都台東区台東1-2-1
TEL: 03-3837-6096

クイックワークをトータルに
サポートいたします。

プロダクトデザイナー

代表取締役

船木 一美

(昭48 機械科卒)

TPO

TOTAL PLANNING OFFICE

有限会社 ティー・ピー・オー

〒150 東京都渋谷区鶯谷町7-7 O.Hビル301

TEL: 03-5489-5024

FAX: 03-3770-0077

合板型枠材・合板足場材
断熱材・新建材・一般建築材
納材問屋

窪谷木材株式会社

代表取締役社長
窪谷 政二郎
(昭21建築科卒)

〒120 東京都足立区千住仲町14-2
TEL: 03-3888-1155 (代)
FAX: 03-3888-1145

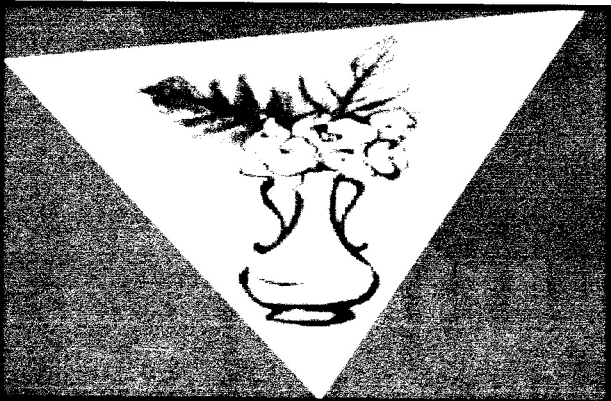
給排水衛生空調設備 設計施工保守

HSK 株式会社 北勢工業

質実剛健 二人で咲かす同期桜

社長 太田 光重 (昭31機械科卒)
専務 仙北谷 孝治 (昭31機械科卒)
常務 太田 博之 (昭56工業化学科卒)

秋田市仁井田本町5-1-62
TEL: 0188 (39) 6516
FAX: 0188 (39) 6513



賛助広告にご協力下さい。

会報を出し続けていくためには、賛助広告への皆様のご協力が不可欠です。お願いを差し上げた節はどうかご協力いただけますよう、心からお願い申し上げます。

INFORMATION

東京秋工会役員 ※平成9年10月1日現在

会長	澤木 誠一	26E
副会長	笹 淵 茂	21Y
	斉藤 右二郎	26M
	三浦 満夫	28E
	遠藤 幸雄	30E
	志賀 英一	31K
幹事長	三平 俊悦	39A
副幹事長	小野 鉄雄	38C
	船木 一美	48M
幹事	佐々木 武	29M
	太田 晋	31M
	川端 邦夫	31M
	佐々木喜代枝	32K
	加賀谷健治	36E
	菅原 富男	39A
	相馬 洋悦	40A
	奥山 恍	41K
	石崎 幹子	42K
	田畑 敏男	45E
	染谷 厚子	47K
会計監事	佐々木昭夫	25M
	門間 金初	31K

秋工同窓会本部・支部

- 同窓会本部
 - ・事務局 秋田市保戸野金砂町3-1〒010
 - ・電話 0188-62-1256
 - ・同窓会長 東海林正隆 (17S)
 - ・幹事長 佐藤俊英 (29M)
- 北海道支部
 - ・事務局 札幌市中央区北四条西1丁目共済3F
共済連交通事故相談所 〒060
 - ・電話 011-232-6348
 - ・支部長 吉岡 昭 (20M)
 - ・幹事長 小浜建作 (20M)
- 仙台支部 (仙台金砂会)
 - ・事務局 仙台市青葉区二日町1-23熱海ビル
日建工業(株) 〒980
 - ・電話 022-221-4576
 - ・支部長 加藤春男 (17C)
 - ・幹事長 手塚光彦 (25S)
- 東海支部
 - ・事務局 愛知県知多郡武豊町字六貫山1-70
塚本憲夫宅 〒450-23
 - ・電話 052-823-2181
 - ・支部長 五十嵐安雄 (28Y)
 - ・幹事長 塚本憲夫 (42M)
- 関西支部
 - ・事務局 大阪府吹田市千里丘32-3
佐々木賢一気付 〒560
 - ・電話 06-875-5488
 - ・支部長 福田 廣 (27M)
 - ・幹事長 菅 光夫 (32E)

東京秋工会会報
KANASA
金 砂

VOL.5



1997年10月10日発行

発 行	東京秋工会本部・事務局 東京都港区虎ノ門1-18-1第10森ビル8F 澤木萬國特許事務所内 電話：03 - 3501 - 0937
発行責任者	澤木 誠一（東京秋工会会長／26E）
編集・制作	東京秋工会会報制作室・第2事務局 東京都渋谷区鶯谷町7-7 O.Hビル301 （有）ティーピーオー内 電話：03 - 5489 - 5024
制作管理責任者	三平 俊悦（東京秋工会幹事長／39A）
編集・制作担当	船木 一美（東京秋工会副幹事長／48M）
